

農 大

令和5(2023)年度版

令和5年11月29日発行
愛知県立農業大学校



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



施設野菜専攻

CONTENTS

- 1 専攻紹介 施設野菜専攻
- 2 派遣実習を終えて
- 3 先輩を迎えて
- 4 専攻トピックス
- 5 クラブ紹介 (陸上部、ボードゲーム部)
- 6 トピックス
一般推薦入学試験の実施、収穫感謝祭、進路セミナー
4Hクラブ員との意見交換、農産物利活用研修、
経営管理研修、GAP研修、豊川特別支援学校の農業体験研修、
岡崎市農林業祭への参加、京田辺市農業委員会の視察研修、
果樹専攻ベストカテゴリー (部門1位) 受賞
- 7 お知らせ
農大祭 2023 の開催

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

施設野菜専攻

施設野菜専攻は、トマト、ミニトマトを中心にナス、キュウリ、温室メロンなどの品目を栽培しています。施設園芸の未来を担う学生28人（2年生13人、1年生15人）がメンバーです。

ハウス棟数は、栽培ハウス10棟、育苗ハウス1棟の合計11棟で、面積は約40aです。栽培は冬春作が中心で、それぞれのハウスを担当する1、2年生が夏場の苗作りから定植、栽培管理、収穫、出荷、販売まで責任を持って行います。

2020年には統合環境制御装置を導入したICT温室が新たに建てられました。既存ハウスにも炭酸ガス発生機やミスト装置、環境モニタリング装置「あぐりログ」の導入が進むなど、現場で普及が進む環境制御技術の導入も進んでいます。

実習の風景



誘引



出荷調製



定植



接木



収量調査



液肥作り

ほ場管理以外にも。。。



校外学習



水曜直売

加工演習



新入生歓迎会(BBQ)

トマト・ミニトマト

大玉トマトは統合環境制御を導入した ICT 温室と土耕栽培、ミニトマトは隔離培地（ココバック、袋培地）、水耕栽培を行なっています。全てのハウスが8～9月に定植し、翌年7月まで収穫する促成長期栽培です。育苗から全て自分達で行い、長期的な管理を学ぶことが特徴です。



大玉トマト



葉かき



ミニトマト



スマホを用いた生育調査



PC を活用した環境制御



斜め誘引



収穫

ナス、キュウリ、メロン

ナスは促成長期栽培、キュウリ、メロンは促成短期栽培です。どの品目も土耕栽培が主体ですが、最近は袋培地などの養液栽培にも挑戦しています。キュウリの接木、ナスの整枝、メロンの受粉など特徴的な管理作業を学ぶことが特徴です。



キュウリ



ナス



メロン



誘引



収穫



整枝



防除



受粉

特集

派遣実習に行ってきました！

本校農学科1年生90名が9月12日から10月20日までの39日間、先進農家でより実践的な技術や経営方法、農家生活を体験する「派遣実習」に行ってきました。

多くの学生はこの派遣実習で、農大では経験できないことを学び、農大での実習との比較をするなど、一皮むけて成長した姿で帰ってきました。

切花専攻
樋口 楓さん受入農家
市川喜秀・真吾さん
(豊川市)

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

ガーベラ生産者への派遣で、ガーベラの収穫や出荷調整をし、市場にも連れて行って頂きました。また、圃場作業では、病害虫の防除などを行いました。他にも温風ヒーターのチューブ設置や温室の外張りビニール張りなどの暖房準備、農業機械のメンテナンスなどもさせてもらいました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

特に詳しく教えていただいたのはガーベラの切り前の見極め方です。切り前とは開花の加減のことで、遅くも早くもないタイミングで収穫する必要があります。出荷箱の中で同じ状態のガーベラを束にするととてもきれいに見えます。ほかにも農薬の効果的なかけ方やドリフト防止などの注意点を教えていただきました。

Q 派遣実習の感想

学んだ農作業を実践したいと思います。農家さんに褒めてもらった「挨拶ができる」など当たり前のことを当たり前にしていきたいです。また、派遣実習期間中が暑かったことから、農家さんが予想した出荷ピークがずれるということを経験し、自然相手の農業の難しさも感じました。

Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

主に水路の拡張や草取りなどの景観の維持や向上を目的とした作業を行いました。観光農園なので「お客さんの目につく場所」を優先的に行い、できる限りほ場を汚さないよう気をつけながら作業しました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

短い作業時間でどれだけ効率的に作業が行えるかという、考える力と行動する力を学びました。様々な道具を使い、新しい作業方法をたくさん見つけることができました。農場長にも褒めていただき自信に繋がりました。

Q 派遣実習の感想

分からないことがあったら分かるまで優しく丁寧に教えてください、とても身に付きやすく楽しかったです。農業以外のことも多く教えて下さったので、良い勉強になりました。今後、派遣実習で学んだことを、いろいろな場面で活かしていきたいです。

果樹専攻
加藤 航太郎さん受入農家
ブルーベリーファームおかざき
畔柳 茂樹さん（岡崎市）

露地野菜専攻
三島 颯太さん



受入農家
（株）棚久さん（碧南市）



Q 派遣期間中、どんな作業等をしていましたか？

僕が主に行った作業はニンジンの間引きでした。とても地道な作業で、その上、残しておきたいニンジン傷つけないように間引かなければいけなかったのが、大変な作業でした。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

間引きなどの技術的な面だけではなく、仕事をするときに大事な心構えなどや、後の仕事の効率を考えて作業する大切さなど、実際の仕事を体験することでしか得られないことを学びました。

Q 派遣実習の感想

最初は周りにあまり馴染めないうえに、仕事も大変だったので、「しんどい1か月になるな」と思っていたのですが、時間が経つにつれ従業員の方とも仲良くなれて、楽しくてとても勉強になった1か月でした。

Q 派遣期間中、どんな作業等をしていましたか？

実習先には3つの牛舎があり、子牛や搾乳牛の飼養管理作業を行いました。ロボット哺乳作業や繋ぎ牛舎での搾乳を主に行い、他にも共進会に向けた牛の引き方等を教えていただきました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

牛によって搾乳量を変えるなど、それぞれの牛に合った搾り方を行っており驚きました。そして、牛だけでなく人との関係をととても大事にしており、酪農は「牛を通して人と関わる仕事」だと知ることができました。

Q 派遣実習の感想

受入れてくださった農家さんに様々なことを教わり、とても充実した実習になりました。農家によって工夫していることや違いが多くあることを実感して視野が広がり、今まで気にしていなかったことにも気がつけるようになりました。農大での実習や将来に活かしていきたいです。

酪農専攻
森谷 雷さん



受入農家
（株）山田牧場さん（田原市）



ようこそ先輩！



11月2日（木）、農大の学生が実践的な農業経営を学ぶため、各作目の第一線で活躍している先輩農業者8名を講師に招き、「農業の魅力や農業経営について」をテーマに、専攻別懇談会「ようこそ！先輩」を開催しました。

各専攻の卒業生となる先輩農業者からは、農業の魅力ややりがい、効率的で安定的な農業経営など貴重なお話をいただき、多くの学生が改めて農業の魅力を実感し、将来の進路に向けて大変有意義な懇談会となりました。

鉢緑専攻 石川 唯也さん

安城市で観葉植物を栽培する石川唯也さんに「自分の歩んできた道と観葉植物経営」について講演していただきました。

石川さんは農大卒業後にコショウラン農家に研修にいったものの、半年で挫折し、実家に戻ったこと。花屋でアルバイトをしている時、親が生産した観葉植物を嬉しそうに購入する子供を見て感動し、自身も親の経営を継ごうと思ったこと。就農後に後継者若手グループ「グリーンウエーブ」に入会し、よき仲間に出会え、公私ともに助けられたことなどを熱心に話されました。現在は安城市温室園芸組合長として、組合のInstagramを立ち上げるなど、意欲的に活動しています。学生は、石川さんから紹介された自身のInstagramを見て、おしゃれな観葉植物に関して質問したり、組合活動の内容に興味を示したりと、高い関心を示しました。農大卒業生としてだけでなく人生の先輩としての貴重な話もあり、学生は有意義な時間を過ごすことができました。



作物専攻 井戸 由佳さん

令和3年度の卒業生であり、豊川市の農業法人「(有)こだわり農場鈴木」に雇用就農した井戸由佳さんに「雇用就農の実情と将来に向けて」と題し、雇用就農の楽しさや厳しさ、農大との違いを昔話を交えながら楽しくお話いただきました。

就農2年目ということもあり、農業機械の扱い等はまだまだこれからとのことでしたが、グリーンセンターでの売り場の確保やPOPの作成、見せ方の工夫等、お米や加工品を売るためにはどのようなことが重要なのかといった経営的な視点での内容に学生たちは熱心に耳を傾けていました。

また、SNSでの情報発信や、お米にまつわるキャラクターの作成も担っており、単に農家という枠にとらわれずに活躍している姿が印象的でした。

また、お話しの途中ではお米クイズもあり、なかなか難しい内容に学生も苦戦していました。将来的には独立を視野に入れているとのこと、雇用就農の後に独立を目指すモデルケースとして学生の就職活動にも役に立つ内容になったと思います。



施設野菜専攻 中野 貴仁 さん

水耕でレタスを栽培する中野貴仁さんに栽培風景や機械の写真を使って栽培管理や就農後の経験談などについて講演していただきました。中野さんは農大卒業後すぐに親元就農しており、自分で作業の流れを計画することや毎年変化する環境に合わせた栽培が必要なところで苦労されているというお話があり、作業の流れを整理するための栽培ノートを毎日休まず記帳されているそうです。学生からは販売方法についての質問があり、中野さんは、スーパーや道の駅等と契約し、価格を交渉次第で自ら決定できるところに面白さを感じると説明されていました。学生は、専攻実習では栽培していないレタスの栽培の話聞き、新しい知見を増やすことができました。



養鶏養豚専攻 中村 彩乃さん

豊川市で飼料製造・販売等を行っている（有）環境テクシスの中村綾乃さんに「職場及び養豚業の概要と自分の就農経験談」について講演していただきました。中村さんの職場は、豚の飼養管理はもちろんのこと、エサの成分や組成など広範囲に学ぶことが多く、業務が多岐にわたりますが、中村さんは、豚の飼養管理をするだけでなく、様々な経験ができる点に着目して職場を選んだそうです。講演では、卒業してから2年目ということもあり、学生の気持ちに寄り添って、一人一人とコミュニケーションを取り進路や学生生活について相談にも乗っていただけました。1年生にはインターンシップに行く重要性を、2年生は進路が決まっても常にアンテナを高くし、視野を広げる必要性について教えていただきました。中村さんが在籍していた当時の学生生活や先生などの話題もあり、楽しく意義のある懇談会を行うことが出来ました。



そのほか、お越しいただいた先輩の皆様（専攻）



村田 佳祐さん(切花)



太田 寛樹さん(果樹)



佐藤 健太さん(露地野菜)



倉知 直之さん(酪農)

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

（注）カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	7 (2)	5 (1)	9 (2)	15 (5)	14 (7)	15 (3)	15 (6)	10 (3)	90 (29)
2年	3 (1)	7 (2)	5 (1)	10 (0)	15 (7)	13 (3)	9 (6)	8 (4)	70 (24)
計	10 (3)	12 (3)	14 (3)	25 (5)	29 (14)	28 (6)	24 (12)	18 (7)	160 (53)



共進会に参加しました！



11月12日(日)、第43回愛知県ホルスタイン共進会が開催され、農大酪農専攻からは第2部（生後9ヶ月以上12ヶ月未満）に「デイジー」という牛を出品しました。

結果は1等賞1席で、優等賞は惜しくも逃しましたが、この共進会への出品にあたり、学生は出品牛の入念な毛刈りを行ったことや、毎日牛引きの練習を重ねたことなど、貴重な経験ができました。

また、共進会の運営の補助や会場の後片付けなどでも大活躍でした。

本当にお疲れ様でした。



～子豚が生まれました～



今年度、豚舎改修工事のために繁殖を制限したため、数ヶ月間は分娩がありませんでしたが、工事も終わり、11月中旬に待望の分娩が始まりました。

母豚たちは、改修工事が終わった真新しい豚舎で次々に分娩を始め、学生たちも久しぶりの分娩に豚舎に椅子を持ち込んで分娩が終わるまで観察したり、子豚が出てくるとタオルで1頭1頭拭いて乾かしたりと手厚い看護をしています。

子豚たちはこの先、学生たちのきめ細やかな飼養管理により真新しく衛生的な豚舎ですくすくと成長していってくれることでしょう。



加工演習で米粉の加工を学ぶ！！

作物専攻では、2年生の加工演習として米粉の加工について学びました。米粉を使ったチーズケーキやチョコレートケーキ、もち米の米粉から造るおだんごを作成し、試食しました。どのスイーツもとてもおいしく、米粉ならではのもちもちとした食感が特徴的でした。使用する米粉の種類や粗さによって膨らみや食感が違うことも分かり、お米の六次産業化も学ぶことができました。

今後は、教えてもらったレシピで作成したスイーツを農大祭で販売していきます。



Fruit tree



果樹

NHKの「まるっと！」で夕焼けマーマレードを披露♪

果樹専攻では11月15日(水)、NHKさんから夕焼けマーマレードの取材を受けました。

今年の3月に学生が県育成品種である「夕焼け姫」を使って作ったマーマレードが、第5回世界マーマレードアワード日本大会のアマチュアの部-学生のマーマレード-でベストカテゴリー賞を受賞したことから、学生に取材依頼があり、ご来校頂きました♪

当日は、NHKさんの大きなカメラが回る中、学生が一生懸命、美味しくて綺麗な夕焼けマーマレードを作りました。NHKさんに作成したマーマレードをご試食頂きましたが、とても好評でした♪撮影した内容は11月17日18時からの「まるっと！」で放映されました。学生の勇姿を見ることができ、学生たちも「頑張った甲斐があった」と嬉しそうでした♪



花きの生産現場を視察しました！



11月16日(木)に、1・2年生合同で一宮市と稲沢市の生産現場へ行きました。一宮市で花苗生産を営む角

田ナーセリーさんでは、植物が好きな人が雇用で働ける法人として様々な努力をなさっている話を聞きました。

稲沢市でバラ苗生産を営む寺尾園芸さんでは、農大の卒業生が勤めており、先輩から直接お話を聞くことが出来ました。学生達も真剣な様子で、将来の進路設計に役立つ一日となりました。





「年10作………? 無理でしょ…」

経営管理演習にて、実習で栽培した切花の所得を計算しました。

「今の栽培方法で温室1棟あたり年間100万円の所得を得るためには、1年で何作回せばよいか?」という問いに対して、学生たちが出した回答は「年4.2作」。

「これなら何とかなるか…?」と納得しかけましたが、実はこの数字、生産コストを全く考慮していませんでした。生産コストを計算に入れた結果、人件費を無視したとしても、正しい答えは「年10作」でした。「無理でしょ…」となるわけですね。農業で生計を立てるためには相当な努力と工夫が必要だということがわかったかな…?



キュウリ、ナスの先進農家を視察しました!

校外学習で西三河地域の施設キュウリ農家と施設ナス農家のは場を視察しました。

施設キュウリ農家からは、JA西三河きゅうり部会の部会員同士があぐりログ等の環境モニタリング装置で、環境測定データを共有し、部会全体で収量を上げているという話を聞きました。

施設ナス農家は防除が難しいコナジラミやアザミウマに対して農薬のみに頼った防除ではなく、土着天敵（タバコカスミカメ）を活用していました。土着天敵の扱い方やメリット・デメリットについて話を聞くことができました。

学生は農家が収量向上を目標に環境モニタリング装置を活用して農家同士で情報共有し、常に改善に努めているという意識の高さや農薬のみに頼らない土着天敵による防除の話を聞いて刺激を受けたようです!



GPSTラクター導入! スマート農業について学ぶ!

スマート農業について学ぶため11月から露地野菜専攻にGPSトラクターが導入されました。今後キャベツ等の畝立てに使う予定で、機械操作に自身の無い人でも真っすぐにキレイな畝ができるようになりました。また、畝立てと連動して施肥もできるため、省力化になり肥料散布のムラもなくなります。

新しく入れた機械を見て学生は興味津々で、早く乗ってみたいと前のめりな様子でした。



学生クラブ紹介

陸 上 部

部員数 8名
活動日時 月曜日～金曜日(木曜日休み)
5:50～7:00、18:00～20:00
活動場所 運転コース



過去に全国大会に出場した経験のある部員もいます。寮生活での軽い運動や、体力づくりなどのトレーニングツールとして利用してみてください。冬には岡崎マラソンなどにも出ます。いろんな大会と一緒に出てみませんか？

ボードゲーム部

部員数 8名
活動日時 毎週木曜日
18:00～20:00
活動場所 教室棟第2教室



トランプゲームや UNO など様々なゲームを使って、みんなで協力したり駆け引きしたりして時間を忘れて楽しんでいます！他にも面白いゲームがいろいろありますので、ぜひ一緒に楽しんで交流を深めましょう！

トピックス

一般推薦入学試験を行いました

10月30日(月)に行われた令和6年度入学一般推薦入学試験では、38名の応募がありました。11月10日(金)に合格発表を行いました。9月29日(金)に実施した農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験合格者を合わせ、58名が推薦入学試験に合格しました。

専攻別では、露地野菜専攻に多くの希望が集中しました。

今後、農業大学校の令和6年度一般入学試験が、12月8日(金)に行われます。

一般入学試験は県内外高校生を始め、広く社会人までの受験が可能となります。農業に熱い思いを持った受験生の応募を期待します。

収穫に感謝！ ～収穫感謝祭を開催しました～

11月2日(木)に「ようこそ先輩」にてお招きした本校を卒業した先輩らを招待し、収穫感謝祭を開催しました。

絶好の天候に恵まれ、学生が丹精込めて育てた野菜や新米を、今年もたくさん収穫できた感謝を込めて美味しくいただきました。

けれどもBBQの主役はお肉！たくさん食べてみんなお腹一杯でした。

学生会が用意したデザートのアイスクリュームまで堪能し、楽しさ満点の収穫感謝祭でした。



第2回進路セミナーを開催しました

11月9日(木)に1年生全員を対象に第2回進路セミナーを開催しました。

第2回は「就職活動の進め方」と題して、(株)インテルプレスの森千紘先生を講師にお迎えしました。森先生には2年生の就職支援にも御協力いただいておりますが、今回は、早期に活動を開始して希望進路先から内定が得られるよう、1年生の就職活動への意識付けをお願いしました。

講義は、就活の基本的な流れや考え方のお話のほか、自己PRやこれまでの経験の掘り起こしのワークを行うなど飽きさせない内容で、学生からも好評でした。

進路セミナーは、今後3回、12月、1月、2月に開催を予定しています。



あいち青年農業者大会で4Hクラブ員と意見交換を行いました

11月10日(金)、あいち青年農業者大会が農大で行われ、意見発表、プロジェクト発表でそれぞれ7名の発表があり、意見発表は1年生、プロジェクト発表は2年生が聴講しました。

農業現場の実体験に基づく経営に直結した意見発表や農業技術の改善や地域の振興のために研究実践しているプロジェクト発表の内容に、多くの学生が興味深く聞き入っていました。

また、農大生と4Hクラブ員とのディスカッションも行われ、参加した学生、4Hクラブ員双方にとって有意義な会となりました。

今後、就農を考えている学生にとっては、就農後のイメージを具体化させる良いきっかけになったのではないのでしょうか。



プロジェクト発表



ディスカッション

農産物利活用研修を開催しました

11月7日(火)、農産物利活用研修を開催しました。講師はオフィス・HANDOの代表寺田久美氏で、「農業のマーケティングと6次産業化」について講演いただきました。受講者は、あいち農業経営塾の受講生を含む28名でした。

寺田先生は、顧客にとって良いものを作ることと、顧客に価値をつたえることの重要性を説かれていました。

講演後の受講者の感想として、非常に分かりやすかった、今後の販売に役立てたい、というものが多く、有意義な研修となりました。



経営管理研修「獣害対策の基礎」を開催しました

10月20日(金)に本校と農業総合試験場の共催で、経営管理研修「獣害対策の基礎」を開催し、県内各地から52名の参加がありました。

研修会では、3名の方に講演いただき、①農業総合試験場普及戦略部戦略統括室の林高弘専門員が「鳥獣被害対策の基礎」と題し、全国の鳥獣被害は総額155億円（R3）で、愛知県においてもカラス、イノシシ、シカの順で被害が多い。被害対策の基本は「寄せない。入れない。捕まえる。」である等の発表がありました。

②東三河農業改良普及課の山口千明主任が「果樹園における中型獣侵入防止について」と題し、豊橋市は果樹複合経営産地で、ハクビシンなどの中型獣による被害が増加している。中型獣侵入防止柵「楽落くん」の普及が必要である。また、その普及を推進している等の発表がありました。

③農業総合試験場病害虫研究室の西村光由技師が、「シカ・イノシシの被害対策のための正しい捕獲」と題し、野生動物を人里に誘引する最大の要因である餌の除去が大切である。また、正しい柵の設置と補修も大切である。そして、イノシシ・シカの捕獲には行動の特性を考慮した柵の設置が必要である等の発表がありました。

最後に、愛知県農業総合試験場の林高弘専門員が座長を務め、総合質疑が行われました。

いずれの講演も実践的であり、有意義なものとなりました。



GAP研修(現地視察)を開催しました

10月18日(水)にGAP研修を開催し、農業者と関係者併せて14名の参加がありました。ASIA GAP認証を取得している岡崎市の水田作農家の(株)六ツ美ライスセンターを訪問し、「国際水準GAPの認証取得と実践」について学びました。

受講者は、(株)六ツ美ライスセンターの取組状況を学び、GAP認証の取得に向けて参考としていました。

(株)六ツ美ライスセンターでは、社員の方々が取得及びその後の維持を担っており、生き生きと取り組んでいる様子が印象的でした。



農機具の整理に関する説明

小学生を迎えて農業体験学習を実施しました

10月13日(金)に豊川特別支援学校の小学生22名を迎えて、農業体験学習を実施しました。

当日は、2班に分かれてトラクターの乗車体験、酪農専攻の牛舎を見学しました。トラクターの乗車体験では、トラクターの乗車方法について説明を聞き、楽しそうにトラクターに乗っていました。

牛舎の見学では、酪農専攻の先生の説明を受けた後、牛にエサをやりました。大きな牛に少し怖がっている様子でしたが、牛について勉強できたと思います。



岡崎市農林業祭に参加しました

11月4日(土)、岡崎市の乙川右岸河川敷で行われた岡崎市農林業祭に出展しました。当日は45もの生産者や関係機関、また、キッチンカーの参加がありました。農大のブースは、日ごろの専攻実習で生産した農産物を販売しました。

野菜、鉢花、花苗などの新鮮な農産物をお値打ちに販売するだけでなく、鉢植えの手入れの仕方や農産物の美味しい食べ方を説明するなど、市民との交流を深めることができました。

また、農林業祭に併せて開催された「どうする NABE—1 岡崎城グランプリ〜〜万人鍋〜」に酪農専攻2年生が出場し、キムチ☆SUKINI鍋を振舞いました。



京田辺市農業委員会が視察研修に来校されました

11月9日(木)に京都府の京田辺市長始め農業委員会24名が視察研修に来校されました。本校から教育部と企画研修部の概要を説明し、本校の取組を知っていただきました。質疑応答では、本校の進路指導や、愛知県の新規就農支援等について様々な質問が出されました。

その後、農大の校内を見学していただきました。本校の1ha規模の水田や大型農業機械などスケールの大きさに関心が寄せられました。



受賞紹介

果樹専攻 ベストカテゴリー（部門1位）受賞

第5回「ダルメイン World マーマレードアワード&フェスティバル in Japan」（参加点数1,984点）において、本校果樹専攻学生の作成した「夕焼けマーマレード #08」が学生マーマレードの部の「ベストカテゴリー（部門1位）」を受賞しました。マーマレード作成に携わった学生4名が、愛媛県八幡浜市で11月11日および12日に行われたレセプション・表彰式に招待され、英国湖水地方ダルメインより来日した主催者ヘーゼル家のベアトリス・ヘーゼル・マコッシュ氏、主催地八幡浜の大城市長、日本大会開催に寄与した鶴岡元英国大使らから表彰状が授与されました。

表彰状授与では代表して水野宏哉君が壇上に上がり、授与後にコメンテーターから求められた一言では、事前に仕込んでおいたはずの「愛媛じゃないよ愛知だよ」というコメントではなく、「このような場に上がられて光栄です」という大人びたそつのない返答をしていました。日和りやがって。

果樹専攻学生のマーマレードアワードへの出品は3年目となり、腕を磨いた学生が作るマーマレードやジャムが12月2日（土）に開催される農大祭にて期間限定で販売されます。また、このコンテストに参加するもう一つの目的である、生産者でも消費者でもない第三者＝農大生によるイチジクPR※「世界イチジクジャムアワード（仮）」（令和6年秋予定）開催に向け、ノウハウの蓄積を続けています。どちらもご期待下さい！（笑）



※イチジクPR

英国ではマーマレードは冬の初めにおばあちゃんが手作りする家庭の味。

8月末から9月、露地もののイチジクが店先に並び価格も手頃となる時期に、イチジクジャムをつくる風習（習慣）を愛知からつくってみたいとの思いから、八幡浜市の事例を参考にイチジクジャムのコンテストを計画。「夏休み自由研究の部」「おばあちゃんへのプレゼントの部」など小中学生の参加しやすいカテゴリーを中心に幅広い年代を対象に行う予定です。

お知らせ

農大祭2023を開催！！

愛知県立農業大学校は、農畜産物販売などを通して地域の方との交流を図り、農業大学校を身近に感じ、愛知県の農業の魅力を発信することを目的に「農大祭2023」を開催します。

- 開催日時
12月2日（土）午前9時から午後1時まで（入場開始 午前8時30分）
- テーマ
農を感じろ！大ナミックに！！祭高の一日を！！ ～農！大！祭！～
- 主な内容
 - ① 農畜産物の直売、食品バザー
各専攻で育てた鉢物、切花、米、果樹、野菜、卵などの直売。焼き鳥、五平餅、プリン、じゃがいもなどの販売。
 - ② 農業大学校のPR
各専攻のパネル展示、農大キャンパスツアーを行い、農大を知るとともに魅力を発信。
 - ③ 各種団体・企業ブース
農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売。

※駐車場は例年混雑するため、公共交通機関を御利用ください。

<公共交通機関の御案内>：名鉄美合駅下車 南へ徒歩10分

※現在、敷地の一部が工事中のため、入場口は車両、徒歩ともに北側入口の1か所になります。

